

【法蔵館文庫】

# 原典訳 マハーバーラタ 8

かみむら かつひこ  
上村勝彦訳 原實・横地優子解説

▼文庫判・並製カバー・256頁・定価 一、四三〇円



古代インドに産声を上げ、いまなお人々の心に生き続ける世界最長の叙事詩。信頼すべきサンスクリット原典訳の待望の復刊。【全8巻】

【8巻あらすじ】 クル軍を率いていたドローナが戦死すると、カルナが次の軍司令官に任命される。クリシュナを御者とするアルジュナに対抗すべく、カルナはマドラ国王シヤリヤに自らの御者となるよう求める。シヤリヤはこれに憤慨するが、ドウルヨーダナになだめられカルナとともに出陣する。ユデイシテイラは、アルジュナがいまだカルナを殺していないことを知り、侮辱的な言葉を投げかける。

## 【目次】

家系図  
主要登場人物  
マハーバーラタ関連地図

### (73) 第8巻 カルナの巻(カルナ・パルヴァン) カルナの死(第一章―第四十九章)

戦況を聞き、失神するドリタラーシトラ／運命のみが最高である／カルナ、軍司令官に就任する／両軍の間で対峙するカルナとアルジュナ／ケーカヤの大軍を粉砕するサーティヤキ／チトラとプラティヴィンディヤの激戦／奮戦するドローナの息子アシヴァッターマンとヒーマ／アルジュナに戦いを挑むドローナの息子／アルジュナに戦場を見せ進んで行くクリシュナ／ドローナの息子に殺されるパインディヤ王／ナクラを殺さず、解放したカルナ／戦場から逃走するパインディヤ軍／戦車を失うドウルヨーダナ／ユデイシテイラとドウルヨーダナの激戦／夜戦を恐れ、撤退するクル軍／カルナの御者となるシヤリヤ／神々と阿修羅たちの大戦争／シヤリヤを御者とするカルナの進撃／アルジュナを讃えるシヤリヤに忿怒するカルナ／鴉の譬えを語るシヤリヤ／シヤリヤの非難に応えるカルナ／ほか

解説 上村勝彦「原典訳マハーバーラタ8」の刊行に寄せて 原實  
解説 上村先生を偲んで 横地優子

### 【訳者・解説者略歴】

上村勝彦(かみむら かつひこ)

一九四四年、東京浅草に生まれる。一九六七年、東京大学文学部卒業。一九七〇年、同大学院人文科学研究科(印度哲学)修士課程修了。サンスクリット詩学専攻。元東京大学東洋文化研究所教授。

主な著訳書に、『屍鬼二十五話』(平凡社東洋文庫)、『カウテイリヤ実利論』(岩波文庫)、『インド神話』(ちくま学芸文庫)、『始まりはインドから』(筑摩書房)、『インド古典演劇論における美的経験』(東京大学出版会)、『バガヴァッド・ギーター』(岩波文庫)、『インド古典詩論研究』(東京大学出版会)、『真理の言葉 法句経』(中央公論新社)などがある。二〇〇三年、逝去。

原實(はら みのる)

インド古典学者、東京大学名誉教授。二〇二一年、逝去。

横地優子(よこち ゆうこ)  
インド古典学者、京都大学名誉教授。

注文書	
(書店印)	
ご担当	様冊
法蔵館 定価 一、四三〇円	
上村勝彦訳 原實・横地優子解説	
原典訳 マハーバーラタ 8	
【法蔵館文庫】	
ISBN : 978-4-8318-2720-3 C0198	
お名前	お住所
お電話	

ご注文はFAX:075-371-0458

法蔵館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入  
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458  
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

インド古典